



良 玄 有 子 14

Naoko Ryogen

INTERVIEW

人生のさまざまな局面で頑張る 女性を微力ながら支えていきたい

入社・結婚・二度の出産・業務復帰と、社会に出てからさまざまな経験をしてきました。産休後フルタイムで業務復帰をした際には、いろいろな困難もありました。家庭と仕事の両立に悩み、退職を考えたことも数知れずあります。しかし、家族・友人・同僚・周りの方々からの温かい支えによって、一つひとつ乗り越えることができました。今は子育てと仕事を両立し働き続けてきて本当によかったと思っています。

現在、ふたりの子ども（息子・中2、娘・小5）も成長し、自分の生活を振り返ったときに、今まで周りの方々から与えていただいた「温かな支え」を、これから出産・育児を経験する後輩たちに届けたいという想いを強く抱きました。この想いを伝える手段の一つとして「女性セミナー」を企画・運営しています。普通の会社員であるわたしの経験や知識が、少しでも皆さまのお役に立てることができたらうれしいです。



タイムスケジュール

5:45	6:20	7:00	7:50	8:30	12:00	17:15	18:00	18:10	18:30	20:00	21:30	22:00	23:30
起床、身じたく	朝食の準備 弁当作り	朝食	家を出る	出社		退社	帰宅、夕食の準備 子供が帰宅	夕食 団らん	入浴	洗濯、翌日の食事の準備		就寝	

夕食の下ごしらえを前夜に済ませるのが時短のポイント。洗濯物を干すのは帰宅後の夫が担当。



PROFILE

1972年生まれ。短大卒業後、NEC入社。仕事と子育てを悩みながらも軽やかに両立している。ワインと子供達に愛情を注ぐママであり、イベントでは自ら司会もこなす。ワーキングネームは旧姓の角田（かくた）

現在の仕事(活動)について

NECのシステムをご利用いただいている企業・官公庁・学校などで組織されたユーザー団体の事務局として、講演会やセミナー・研修会など各種イベントの企画や運営全般を担当しています。お客さまのニーズにそった企画立案のため日々試行錯誤をしています。

プライベートの過ごし方

休日は家族と一緒に過ごしています。大勢でにぎやかな雰囲気が好きなので、夏はBBQ、冬は鍋パーティーなど友だち家族と一緒に楽しんでいます。平日の夜は同僚とお酒を飲みに行くこともあります。お母さんもたまには息抜きが大切だと思います。



- ①第2回「女性セミナー」開催風景
- ②セミナーで用意したお茶菓子。細やかな気遣いが表れている
- ③子どものために、楽しいお弁当やお料理をつくることを心けているという
- ④長男小学校入学時は、夫が単身赴任になり、長女もまだ幼くて大変だったとか
- ⑤元気いっぱいの娘は性格も似ているそう

「女性セミナー」を通して頑張る人を応援

「やりがい」だと感じられること

お客さまから感謝や喜びの言葉をいただいたときや、笑顔を見せてくださったとき、何気ない会話の中で「気持ちが通じ合った」と感じられたときなど、お客さまに喜んでいただくことが何より嬉しく、自分の仕事に対するやりがいを強く感じます。

忘れられないエピソード

「女性セミナー」を企画した際、初めての試みに上司もわたしもうまくいかどうか不安でした。準備を念入りに重ね、当日は無我夢中で進行了ました。終了後「今まで参加したセミナーで一番良かった」と書かれたアンケートを見たときの達成感は忘れられません。

仕事と家事の両立で工夫していること

会社では「仕事の時間軸」で行動していますが、家庭では「大人軸で考えない」ようにしています。なかなか子どもが寝てくれないときは家事は後回しにして一緒に寝るなど、子どもの気持ちを最優先にすると腹を括れば、イライラせず楽な気持ちになります。

女性が活動する上で不足していること

多様な働き方への理解が必要だと思います。難しい面もあるとは思いますが、業務の生産性・効率化を重視した働き方への評価が高まれば、短時間勤務などの制約があっても、自分がめざしたいキャリアをしっかり描きながら働くことができると思います。

札幌を拠点に活動することについて

夫婦そろって札幌育ちであり、両親も、生粋の道産子である子どもたちも、家族みんなが札幌という街が大好きです。札幌は、優しく穏やかな人が多く、温かみのある街だと思います。この恵まれた環境の中で生活できることは、とても幸せだと思っています。

社会で女性が活躍することについて

女性ならではの感性や視点、細やかな気配り、発想力などをもっと社会に取り入れていくことで、活躍の場が増えていける社会になれると思っています。一方で女性側の意識改革やスキルアップも必要です。相互バランスのよい環境になることを希望しています。

今後の目標・展望など

第一に、たくさんの働く女性たちを応援できる活動として「女性セミナー」を発展させていきたいと思っています。第二に、社会インフラ整備を担うメーカーに勤務する者として、札幌市に暮らす一市民として、札幌の発展のためにこれからも寄与していきたいと思っています。

活動を望む女性へのメッセージ

変化に不安はつきものですが、最初からあきらめず、理想にこだわらず、まずは何でもやってみることが大事だと思います。辛いことがあったときは「未来の自分への貯金」だと思い、視点を変えてみることで、新しい道が自然と開けることもあると思います。